

平成30年度県産材需要拡大県民運動推進会議

日時：平成30年11月15日（木）

午後3時から

場所：水前寺共済会館グレースシア

会 議 次 第

1 開 会

2 熊本県知事あいさつ

3 議 題

(1)平成29年度県産材需要拡大県民運動の実施状況について

.....資料1

(15:05～15:35)

(2)平成30年度県産材需要拡大県民運動の取組みについて

.....資料2

(15:35～15:50)

4 講 演

「CLTを活用した施設の建設～介護老人保健施設 八祥苑の事例紹介～」

株式会社 太宏設計事務所 統括部長 河野 豊 氏

(15:50～16:25)

5 閉 会

県産材需要拡大県民推進会議(委員各位出席者名簿)

	役職	氏名	代理出席者氏名
会長	熊本県知事	蒲島 郁夫	代理 小野 泰輔 熊本県副知事
副会長	熊本県森林組合連合会代表理事会長	前川 収	
副会長	一般社団法人熊本県木材協会連合会会長	鋤本 行廣	代理 堀川 泰注 副会長
委員	熊本県市長会会長	中嶋 憲正	代理 藤崎 博之 事務局次長
委員	熊本県町村会会長	荒木 泰臣	代理 下村 弘之 次長
委員	熊本県議会議長	坂田 孝志	代理 森 浩二 副議長
委員	熊本県町村議会議長会会長	田上 更生	代理 稲田 忠則 副会長
委員	公益社団法人熊本県建築士会会長	中尾 憲征	
委員	一般社団法人熊本県建築士事務所協会会長	南 孝雄	
委員	一般社団法人熊本県建設業協会会長	土井 建	代理 笹原 健嗣 副会長
委員	熊本県治山林道協会会長	和田 拓也	代理 塩木 康博 常務理事
委員	熊本県森林土木建設協会会長	土井 建	代理 塩木 康博 事務局長
委員	熊本県中小企業団体中央会会長	櫻井 一郎	代理 中村 栄孝 総務課長
委員	熊本県教育委員会教育長	宮尾 千加子	代理 猿渡 伸之 施設課長
委員	特定非営利活動法人熊本消費者協会会長	徳永 理映	代理 宮園 由紀代 副会長
委員	株式会社熊本日日新聞社社長	河村 邦比兎	代理 緒方 宏則 総務部長
委員	熊本地区木材需要拡大推進協議会会長	岡部 清志	代理 宮園 由紀代 監事
委員	宇城地域木材需要拡大協議会会長	上田 泰弘	代理 泉本 伸一 事務局長
委員	玉名地域森林・林業振興協議会会長	家入 淳	代理 西島 文郎 木材需要拡大推進部 副部会長
委員	鹿本地域木材需要拡大推進協議会会長	立山 豊寛	代理 平井 光臣 鹿本地域森林・林業振興協議会 副会長
委員	菊池地域木材需要拡大推進協議会会長	前川 収	代理 平田弘明 菊池森林組合代表理事専務
委員	阿蘇森づくり協議会会長	阿南 忠治	
委員	上益城地域林業・木材産業振興協議会会長	梅田 穰	代理 外本 英治 副会長
委員	八代地域木材需要拡大推進協議会会長	西坂 栄樹	
委員	水俣・芦北地域木材需要拡大協議会会長	佐藤 三郎	
委員	球磨地域林業・木材産業振興協議会会長	堀川 泰注	
委員	天草地域木材需要拡大推進協議会会長	森 信行	代理 野嶋 義澄 副会長

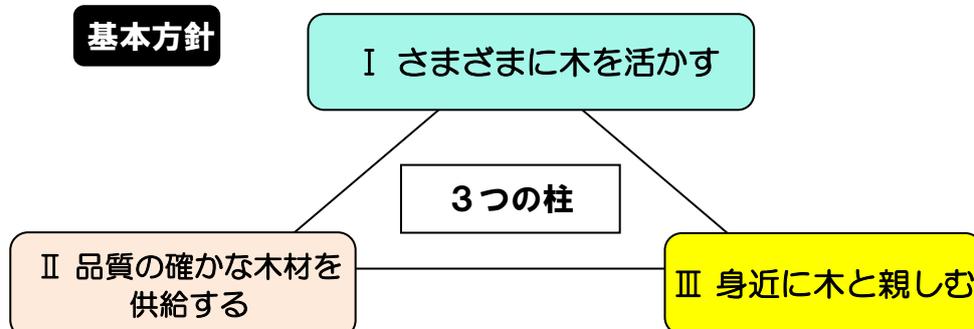
本人:7名 代理:20名 合計:27名

資料1

平成29年度
県産材需要拡大県民運動の実施
状況について

県産材需要拡大県民運動推進計画（H29-H31）の概要

基本方針



具体的な取組み

I さまざまに木を活かす

- 1 公共施設等の木材利用の推進
- 2 木材の用途開発の推進
- 3 木材の輸出の推進
- 4 木質バイオマスの利用の推進

II 品質の確かな木材を供給する

- 1 品質・性能の確かな製材品の供給推進
- 2 木材加工施設等の整備の推進
- 3 東京五輪を契機とした木材利用の推進

III 身近に木と親しむ

- 1 木の良さの普及啓発
- 2 木育や木づかい運動等の推進
- 3 住宅における木材利用の推進
- 4 木を活かした地域づくりの推進

平成29年度県産材需要拡大県民運動の取組みについて

I さまざまに木を活かす

1 公共施設等の木材利用の推進

(1) 公共建築物等木造化推進事業

- ①社会福祉法人の施設や熊本地震により被災を受けた庁舎の木造化に向けた働きかけの実施
- ②建築士や建設担当者（民間・行政）への講習会、研修会を実施

[県（林業振興課）]

(2) 熊本県公共施設・公共工事木材利用推進本部による木造化の推進

- ①熊本県公共施設・公共工事木材利用推進本部会議において、公共施設等における木造率等の目標を定め、関係部局が協働して木材利用を推進
(知事を本部長に各部長、教育長、県警本部長等で構成)
- ②平成29年度の推進本部会議を平成29年11月6日に開催
- ③平成29年度の実績は以下のとおり
 - ・公共施設（低層）の木造率 61%（うち県施工は88%）
 - ・公共施設の内装木質化率 75%（うち県施工は56%）

[県（熊本県公共施設・公共工事木材利用推進本部）]

(3) 県産材需要拡大一斉行動

各地域木材需要拡大推進協議会等が地域の関係団体等に対して、「木の日」(10月8日)がある10月を中心に県産材需要拡大のための要望活動を実施

(主な要望先)

国出先機関、市町村、農協、漁協、商工会、社会福祉法人、観光協会、金融機関等

(4) 第23回木材利用大型施設コンクールの実施

県産木材を使用した施設のコンクールを実施し優れた木造施設の顕彰を行うとともに、受賞施設のパネル、パンフレット等を作成し、普及啓発を実施

[県（林業振興課）、県森連、県木連、県事業連、くまもと県産材振興会]



【熊本県賞】
グループホーム聖母の丘(熊本市)



【県森連賞】
天草市崎津資料館みなと屋(天草市)



【県木連賞】
小国中学校柔道場(小国町)



【県事業連賞】
五木村歴史文化交流館(五木村)



【くまもと県産材振興会賞】
山都町観光文化交流館(山都町)

(5) 学習会（視察研修）

- ①秀岳館高等学校新校舎（耐火木造建築物）及び介護老人保健施設 八祥苑（CLT 建築物）の構造見学会を開催（秀岳館高校：平成 29 年 12 月 8 日、八祥苑：平成 29 年 12 月 16 日）

[県（林業振興課）]

秀岳館高校 構造見学会



秀岳館高校



八祥苑 構造見学会



- ②木材需要拡大に向けた取組みに関する情報共有のための研修会を開催（公共施設木材利用、認証材、海外輸出等）

[熊本木需協]

- ③小林市庁舎（木造）の視察研修を実施（平成 29 年 11 月 9 日）

[水俣・芦北木需協]

小林市庁舎



小林市議会 議場



- ④球磨地域の木材加工・流通の体制を検討するため、大型製材及び木材のカスケード利用に取り組む事業者を視察

[球磨林木協]

- ⑤センダンの育成技術の習得並びに需要に関する情報収集による管内生産者の意識の向上、生産体制の強化を図るため視察研修を実施

[天草木需協、天草林業研究グループ連絡協議会]

(6) 木造設計アドバイザーによる技術指導

①木造で計画する公共建築の設計において木造設計アドバイザーを派遣し、技術指導を実施（実績1件）

[県（営繕課）、熊本県建築住宅センター]

②県等の補助を受けて施設を整備する可能性のある事業者等に対し、木造で計画する場合の技術的なアドバイスを実施（公共建築物等木造化推進事業）

[県（林業振興課）]

(7) 公共工事における木材の利用推進

治山及び林道工事における木材の使用を促進するため、治山林道工事を対象に治山木材使用工事コンクール及び民有林林道木材使用工事コンクールを実施

[治山林道協会、県（技術管理課）]

(8) その他継続的な取組み

「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」（九州ブロック）の開催
国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材及び苗木等の需給情報の収集・共有（平成29年9月15日、12月12日に開催）

[林野庁]

2 木材の用途開拓の推進

(1) くまもと県産木材販売力・品質確保強化事業の実施

県産製材品の販路開拓の為、商談会等の開催、展示会等への出展（東京、名古屋、大阪）等を行うと共に、講習会を開催し、大消費地のマーケット事情等について理解を深める活動を支援

[県木連、県（林業振興課）]

(2) 広葉樹資源の利活用推進

天草の豊富な広葉樹資源の利活用の取組みとして、建築資材としての利用推進やPR活動を実施

[天草木材協会、天草木需協、天草流域森林・林業活性化センター]



天草市崎津資料館みなと屋(天草市)
フローリングに広葉樹を活用

(3) 新たな建築部材の普及

CLT、BP材など新たに開発された建材の普及を実施

[県（林業振興課）]

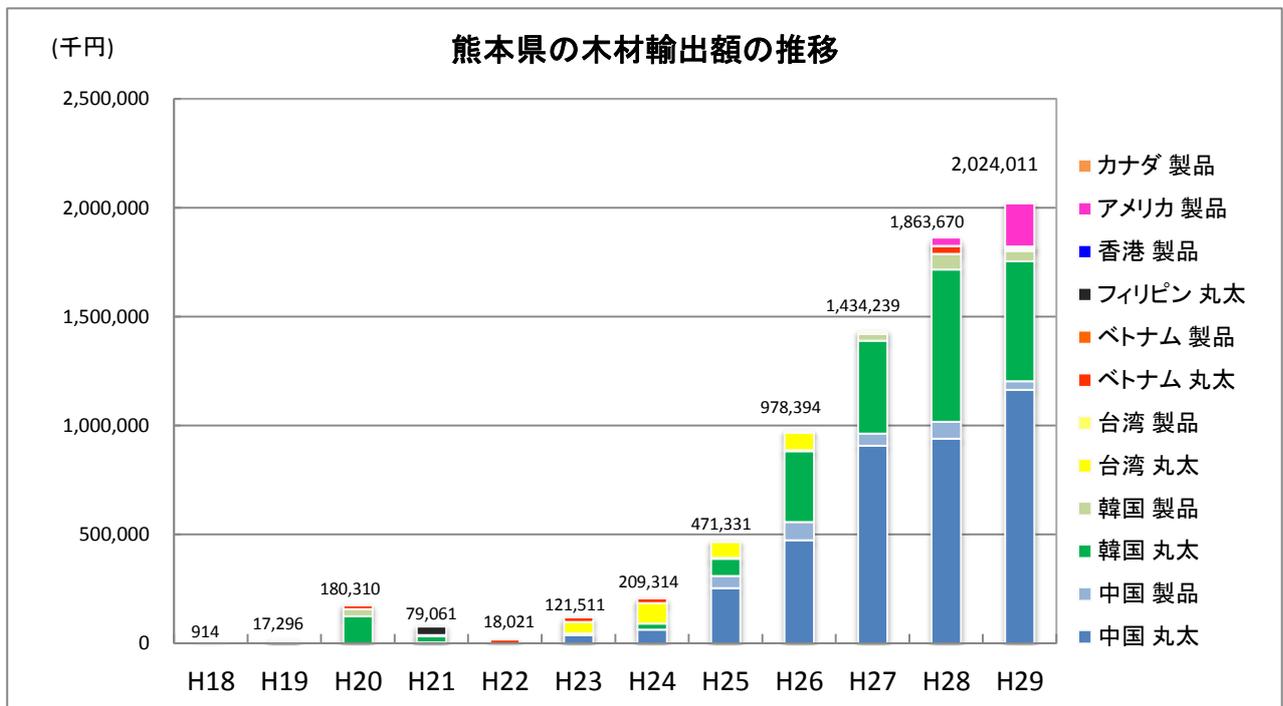
3 木材輸出の推進

(1) 県産木材の海外販路開拓

①経済成長に伴い木材の輸入量を年々増加させている中国等の東アジア地域等を対象に、「くまもと県産木材輸出促進協議会」による、海外マーケット調査、海外バイヤー招へい及び海外展示会出展等の活動を展開するなどし、県産木材の新たな販路開拓に向けた取組みを実施

②アジアの富裕層が経営するマンション、高級ホテル及び高級飲食店等をターゲットにして、県産木材を活用した「和室」による輸出の可能性と課題を整理し、「和室」による新たな海外展開への取組みを実施

[県（林業振興課）、くまもと県産木材輸出促進協議会]



アメリカ向けに輸出が伸びているフェンス材



台北ビルディングショー

4 木質バイオマスの利用の推進

(1) 木質バイオマスエネルギー利用の推進

- ①原料供給、燃料製造、燃料配送の各分野において、燃料の低コスト安定供給に向けた取組みを支援（木質バイオマス等エネルギー対策事業）

[県（林業振興課）]

- ②木質バイオマス発電への利用を推進するため、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく木質バイオマス供給事業者認定制度の普及と事業者認定を実施

[県森連、県木連]

- ③木質バイオマス発電利用を推進するため、原料の安定確保についての指導等を実施

[県（林業振興課）]

- ④木質バイオマスの利用促進を目的として、薪割機の購入費用を助成

[熊本県森林・山村多面的機能発揮協議会（県森連内）]

- ⑤九州電力株式会社苓北火力発電所で使用する石炭混焼用の木質チップを出荷

[天草地域森林組合]

- ⑥天草地域の森林資源（広葉樹）利活用推進の一環として、あまくさ薪を生産・販売

[天草地域森林組合]

- ⑦農業用加温機による木質バイオマス燃料の需要を創出し、原料となる林地残材等の調達から燃料製造・配送にかかるシステムの構築（平成24年から。くまもと型地域循環システム）

[県（林業振興課）]

バイオマス発電所（日本製紙(株) 八代工場）



(2) カーボンオフセットの普及

国内クレジット制度の対象となる利用者、木質バイオマス利用に関心のある事業者に対する、制度の普及啓発

[県木連]

Ⅱ 品質の確かな木材を提供する

1 品質・性能の確かな製材品の供給の推進

(1) 合法性証明制度の普及啓発

合法性証明制度の普及啓発及び認定事業者の拡大を推進するとともに、既認定事業者への研修指導を実施

* 県内の認定事業者数（平成 30 年 3 月末現在）：213 事業体

[県森連、県木連]

(2) 品質の確かな乾燥材の販売促進

①規格を統一した品質の確かな乾燥材の供給推進のため、木材の乾燥に関する技術の普及啓発（乾燥機導入事業所 40 社）

[くまもと県産材共同集出荷センター、県木連]

②新エネルギーによる乾燥機の普及啓発

[同上]

(3) J A S 製材品の普及啓発

① J A S 認定工場に対して、生産拡大のため、品質確保の指導等を実施

[県（林業振興課）、県木連]

② J A S 展示会への出品促進、協力による J A S 製品の普及促進

[同上]



JAS材

(4) 共同出荷の推進

くまもと県産材共同集出荷センターが中核となり、高付加価値のため規格を統一した品質の確かな乾燥材の生産を促進し、県外への共同出荷を推進

* 平成 2 9 年度実績：1 億 8 千万円、3, 4 3 3 m³

[くまもと県産材共同集出荷センター、県事業連]

2 木材加工施設等の整備の促進

(1) 木材加工施設の整備促進

林業・木材産業振興施設等整備事業及び林業・木材産業生産性強化対策事業による施設整備の支援（木材集出荷販売施設、木材製材施設、プレカット加工施設）

[県（林業振興課）]

3 東京五輪を契機とした木材利用の推進

(1) 認証材の供給体制等を整備【新規】

①東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が公募する事業に応募し、選手村ビレッジプラザ（D2棟）への県産森林認証材の採用が決定

②東京五輪を契機に森林認証材等の木材需要の増加が期待されるため、「くまもと県産森林認証材供給協議会」による森林認証材のPR活動及び供給体制等の整備を実施

[県（林業振興課）、くまもと県産森林認証材供給協議会]



木製エンブレム



事業協力自治体に贈られた感謝状

Ⅲ 身近に木と親しむ

1 木の良さの普及啓発

(1) 第23回県産材需要拡大県民運動推進会議の開催

県産材の一層の需要拡大を目的に、林業・木製材業、建設、建築業、行政関係者等による県産材需要拡大県民運動推進会議を開催（平成29年11月16日）

[県（林業振興課）]

(2) 木材利用推進のためのパネル等を展示

①県庁地下通路等で木造施設コンクール、木育事業、「木の日（10月8日）」に係るポスター及びパンフレット等を展示

[県（林業振興課）]

②山都町、甲佐町、嘉島町においてパネル等巡回展示を実施

[上益城林木協]

③氷川町のイベントで、来場者へ木材利用等をPRするパネル展示、資料配布を実施

[八代木需協]

(3) 県政広報番組等による情報発信

テレビ、ラジオ、新聞等、ホームページで県の施策を紹介し、木の良さや、木造住宅の優位性、県産木材の利用意義等について普及啓発の実施

[県（林業振興課）]

(4) マスメディアの活用による情報発信

新聞等を活用して、木造住宅の良さ・県産木材の利用意義等に関する普及啓発を実施（熊本日日新聞朝刊・くまにちすぱいす）

[林業・木材産業活性化広報協力事業協議会、県木連]

(5) インターネット等による情報発信

①ホームページで木材の特性、品質・規格、木材統計等の情報提供

[県木連、くまもと県産材共同集出荷センター]

②電話等による情報提供

Eメール及び電話による相談に対し情報提供

[くまもと県産材共同集出荷センター]

③「国産材住宅ワンストップサービス窓口」による地域材を使った家づくりを行う事業体情報を一般消費者に情報提供

[県木連、林業・木材産業活性化広報協力事業協議会]

④フェイスブックによる情報発信

くまもとの森林・林業・木材産業について紹介するフェイスブックページ『くまもとの木づかい』で情報発信

[県（林業振興課）]



2 木育や木づかい運動等の推進

(1) くまもとの木と親しむ環境推進事業の実施（水とみどりの森づくり税活用事業）

県民、特に次世代を担う子どもたちに、木のぬくもりや香りに親しむ環境を提供し、木を身近なものに感じてもらい、木材の良さや県産木材の利用意義等の理解を深めるため、次の取組みを実施

①くまもとの木製遊具推進事業

幼稚園、保育園等の子育てを支援する施設等に県産木材で作った木製遊具を貸し出すとともに、木をテーマにした紙芝居や絵本の読み聞かせ等を実施（延べ 37 団体）

②くまもとの木育体験事業

子どもたちを対象に、県産木材を使ったものづくり体験等を実施（県内 4 ヲ所）

③木とともに育つ環境整備事業

幼稚園・保育園・小中学校等へ県産木材を使用した机・椅子及びロッカー、棚など子どもが利用する木製品の導入を支援（24 事業体）

④くまもとの木で育む教育推進事業

義務教育課程における木育推進のため、小学 5 年生向けの社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本（各約 18,000 人）及び教師用ガイドブックの作成配布

⑤くまもとの木とふれあう木育推進事業

地域の特色を活かし、県産木材を使用した木育に関する活動や取組を支援（5 団体）

[県（林業振興課）]

(2) 木育インストラクター（木育推進員）の養成

①木育を行う人材を養成するための講座を開催

初級、中級及び上級に分け各1回、県と熊本大学がそれぞれ開催し、計6回実施
[熊本大学、県（林業振興課）]

②木育のつどい（木育情報交換会）

木育インストラクター及び木育活動を実施している県内の団体が情報交換を行うことで、それぞれの新たな取組みの実施、活動の幅の拡大、連携の推進などに繋げることを目的とし、情報交換会を実施

[県（林業振興課）]



木育インストラクター認定証



木育インストラクター養成講座



木育のつどい

(3) くまもとのものづくりフェアの開催

子どもや保護者を対象に、県産木材を素材としたものづくりフェアを熊本市、八代市、長洲町、苓北町にて各1回実施

[県（林業振興課）、熊本県技術教育研究会、熊本ものづくり塾、
県中学校教育研究会技術家庭科部会、熊本大学]

(4) ものづくり教室の開催

小中学生を対象とした簡単な工作をしてもらう「ものづくり教室」を実施（8月12日
技能フェア in 熊本新港、参加者42名）

[熊本県技能士会連合会]

(5) 木工作品コンクールの実施

中学校を対象とした木工作品のコンクールを実施



[球磨林木協]

(6) 各地域木需協、各団体による木工教室の実施

①各木需協による小学生等を対象とした木工教室

熊本木需協	1回	62人
宇城木需協	5回	173人
玉名森・林振興協	9回	318人
菊池木需協	3回	83人
阿蘇森づくり協	7回	246人
上益城林木協	4回	157人
水俣・芦北木需協	2回	134人
球磨林木協	2回	165人
天草木需協	5回	121人
計	38回	1,459人



②小学校で児童・保護者を対象に、森林の働き等環境学習を行うとともに、木工教室を開催（3校、124人）

[県木連、くまもと県産材振興会、各地区木青会]

(7) その他の活動

①35カ所の保育園・幼稚園で木育活動を実施 988人

[林業・木材産業活性化広報協力事業協議会]

②熊本市及び西原村の小学校3校で木育活動を実施 125人

[県森連]

③幼稚園・保育園等への木製遊具の提供等

宇城木需協	4園に木製積み木
鹿本木需協	3園に木製積み木
阿蘇森づくり協	11園に木製積み木
上益城林木協	33園 655人に卒園記念品（コースター）

④小学校へ地域材を用いた木製看板の提供

[菊池木需協]

⑤住民に実際に触れてもらい木の良さを知ってもらうため、八代市及び氷川町に木製ファイルワゴンを贈呈

[八代木需協]

⑥^{もくもく}木木ふれ合い祭

木材に親しみ、木材の良さを知っていただくことで、県民の皆様に木材利用を普及するためのイベントを開催（平成 29 年 10 月 15 日）

[林業・木材産業活性化広報協力事業協議会]

⑦幼児期から木に親しむ機会を増やすため、町内 1 歳児に小国杉玩具を贈呈（ウッドスタート事業）

[小国町]

⑧幼児期から木に親しむ機会を増やすため、町内 3 カ月児に木製玩具（木製の金魚の車及び積木）を贈呈（長洲町ウッドスタート事業）

[長洲町]

⑨幼児期から木に親しむ機会を増やすため、村内の 1 歳未満児に木製玩具を贈呈

[五木村]

3 住宅における木材利用の推進

(1) くまもと型復興住宅の建設

①県産木材を用いた木造住宅が震災からの復旧、復興に最大限利用されるような取り組みを継続して推進

[熊本県地域木造住宅生産体制強化地域協議会]

②平屋または 2 階建てであって耐震等級 3 または 3 相当の県産材を使用した木造住宅に係るプラン集をまとめたガイドブックの配布（1 千万円以下に 20 プラン、2 千万円以下に 35 プランの掲載）

[熊本県地域型復興住宅推進協議会]

③セミナー・相談会の実施

県内の建築・木材関係団体と連携し、ガイドブックを活用したセミナーや相談会を開催（相談会：3 2 回開催）

[同上]

④森林バスツアーの実施

7 月 22 日 五木村

8 月 5 日 南阿蘇村

[同上]



くまもと型復興住宅モデル住宅 1号棟
KKN((一社)熊本工務店ネットワーク)



くまもと型復興住宅モデル住宅 2号棟
建築士会・くまもと復興の家グループ



くまもと型復興住宅モデル住宅 3号棟
五木源(ごきげん)住宅復興支援チーム

(2) くまもと県産木造住宅づくり復興推進事業

県産木材の使用を通して良さを実感してもらい、住宅への県産木材の利用促進を図るため、県産の木材及び緑化木（庭木）の提供事業を実施（柱材9,696本、内装材1,157㎡）

①住宅等への補助：合計139戸

（一般住宅106戸、三世帯住宅30戸及び事業所等への補助3棟）

②一般住宅枠106戸のうち80戸を上限として、熊本地震により被災した住宅の復旧のために新築する方を優先

③県産木材の提供事業による住宅の建築事例等を住宅情報誌等で紹介

[県（林業振興課）、県木連、熊本県樹芸農業協同組合]



提供した県産材で建設中の住宅内部

(3) 木造建築物イメージ回復対策事業【新規】

木造住宅が地震に弱いというイメージを払拭し木造住宅を選択していただくために、パンフレットを作成・配布して県民に木造建築物と地震に関する情報を提供

[県（林業振興課）]



パンフレット表紙



ポスター

(4) くまもと県産木材アドバイザーによる普及啓発活動の実施

木造建築だけではなく林業や木材流通加工さらには県産木材の利用意義を伝えることができる幅広い知識をもった「くまもと県産木材アドバイザー」を活用した普及啓発を実施（平成29年度時点認定者数：113名）

[県（林業振興課）、県産木材アドバイザー]

(5) 住宅等の見学会の実施

高校生を対象に、次世代の木造住宅建築の担い手育成のため、木造住宅、木材加工工場等の見学会を実施

[県（住宅課）、くまもと県産材振興会、熊本県建築住宅センター]

(6) 木造住宅設計コンクールの実施

①高校生、高専生、大学生を対象に、設計コンペを実施

[県（住宅課）、くまもと県産材振興会、熊本県建築住宅センター]

②管内の優れた木造住宅を顕彰するとともに広報することで消費者等に木造住宅の良さをPR

[球磨林木協]

(7) 市町村における木造住宅への支援

地域材を購入して家を建てる施主を対象とした、木材費用等の支援を実施(10市町村)

[八代市、水俣市、人吉市、天草市、美里町、小国町、
芦北町、多良木町、山江村]

(8) 高齢者向け住宅の木質化の実施

高齢者向けサービス付き高齢者住宅の整備の補助条件に、内装（壁及び床）の木質化を付することで、木質化の促進を実施

[県（住宅課）]

(9) 技術研修会等の実施

木製材業者、設計者、建築士及び住宅建設関係者等を対象として、研修会・講習会等を実施

[八代木需協]

4 木を活かした地域づくりの推進

(1) 木を活かした景観づくり支援事業の実施

多くの県民が利用または目に触れる公共的空間（観光地や商店街など）における県産木材を活用した建築物、案内板、外構・休憩施設等の設置又は補修の支援（6件実施）

[県(林業振興課)]



(2) ウッドリノベーション支援事業の実施

県産木材を使用した店舗等のリフォーム、リノベーションを支援し、店舗等を「くまもとの木を利用したリフォーム、リノベーションのモデル」とするとともに「くまもとの木の良さを伝える情報発信拠点」とし、県産木材等のPRを実施（3店舗実施）

[県(林業振興課)]

(3) 天草ヒノキプロジェクトの推進

ヒノキを活用した商品開発・展示販売、木育キットの開発・ワークショップの実施、公式ホームページの開設、リーフレット作成、FMラジオ出演などによる情報発信

[天草木需協]



(4) 顔の見える家づくりグループによる取組み

県内の「顔の見える家づくりグループ」による地域材を利用した住宅建築の情報提供や住宅相談会、見学ツアー等を実施

工務店、木材生産業者及び森林組合などが連携し、施主を山に案内するなどして、木造住宅の建築に意欲を喚起する

[顔の見える家づくりグループ]

(5) 公共工事等への木製品の普及啓発

丸太、坑木、残置式型枠、校倉式土留め等、公共工事等に使用する木製品について、土木資材木材活用ガイドブック、業界団体の研修会等を活用した普及啓発を実施

[土木資材としての木材供給確保協議会]

資料2

平成30年度
県産材需要拡大県民運動の取組み
(案)について

平成30年度県産材需要拡大県民運動の取組みについて

I さまざまに木を活かす

1 公共施設等の木材利用の推進

(1) 公共建築物等木造化推進事業

- ①社会福祉法人の施設や熊本地震により被災を受けた庁舎の木造化に向けた働きかけの実施
- ②建築士や建設担当者（民間・行政）への講習会、研修会を実施
（施主向けの研修会を3回実施済）

[県（林業振興課）]

(2) 熊本県公共施設・公共工事木材利用推進本部による木造化の推進

熊本県公共施設・公共工事木材利用推進本部会議（平成30年10月15日開催）において、公共施設等における木造率等の目標を定め、関係部局が協働して木材利用を推進（知事を本部長に各部長、教育長、県警本部長等で構成）

※県有施設の場合、原則木造とし、単にコスト面の検討のみにより木造化を選択しない事案が発生しないようにするとともに、今後整備される塀は木製が不適当なものを除き原則木造とすることが確認された。

[県（熊本県公共施設・公共工事木材利用推進本部）]

(3) 県産材需要拡大一斉行動

各地域木材需要拡大推進協議会等が地域の関係団体等に対して、「木の日」（10月8日）がある10月を中心に県産材需要拡大のための要望活動を実施

（主な要望先）

国出先機関、市町村、農協、漁協、商工会、社会福祉法人、観光協会、金融機関等

(4) 第24回木材利用大型施設コンクールの実施

県産木材を使用した施設のコンクールを実施し優れた木造施設の顕彰を行うとともに、受賞施設のパネル、パンフレット等を作成し、普及啓発を実施

今回から国・県の施設も「賛助施設」として募集

[県（林業振興課）、県森連、県木連、県事業連、くまもと県産材振興会]

(5) 学習会（視察研修）

管内の森林林業の現状や木造公共施設の木造化・木質化をテーマとした研修会の開催

[八代木需協、八代市森林・林業活性化促進議員連盟]

(6) 木造設計アドバイザーによる技術指導

- ①木造で計画する公共建築の設計において木造設計アドバイザーを派遣し、技術指導を実施

[県（営繕課）、熊本県建築住宅センター]

- ②県等の補助を受けて施設を整備する可能性のある事業者等に対し、木造で計画する場合の技術的なアドバイスを実施（公共建築物等木造化推進事業）

[県（林業振興課）]

(7) 公共工事における木材の利用推進

治山及び林道工事における木材の使用を促進するため、治山林道工事を対象に治山木材使用工事コンクール及び民有林林道木材使用工事コンクールを実施

[治山林道協会、県（技術管理課）]

(8) 「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」(九州ブロック) の開催

国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材及び苗木等の需給情報の収集・共有

[林野庁]

2 木材の用途開拓の推進

(1) 新たな建築資材等の普及

CLT、BP材など新たに開発された建材の普及を実施

[県（林業振興課）]



CLTを活用して建設中の県立農業大学校



BP材等を活用して建設中の県森連新事務所

(2) くまもと県産木材販売力・品質確保強化学業の実施

県産製材品の販路開拓の為、商談会等の開催、展示会等への出展（東京等）等を行うと共に、講習会を開催し、大消費地のマーケット事情等について理解を深める活動を支援

[県木連、県（林業振興課）]

(3) 新たに開発された住宅資材の普及

内装材や床材など、新規に開発された製品の普及活動の実施

[県事業連、くまもと県産材共同集出荷センター]

(4) 広葉樹資源の利活用推進

天草の豊富な広葉樹資源の利活用の取組みとして、建築資材への製品化やPR活動を実施

[天草木材協会、天草木需協、天草流域森林・林業活性化センター]

(5) 大型木造施設や加工施設の先進地視察

[球磨木需協]

3 木材輸出の推進

(1) 県産木材の海外販路開拓

①経済成長に伴い木材の輸入量を年々増加させている中国等の東アジア地域、EU等を対象に、「くまもと県産木材輸出促進協議会」による、海外マーケット調査、海外バイヤー招へい及び海外展示会出展等の活動を展開するなどし、県産木材の新たな販路開拓に向けた取組みを実施

・中国山東省済南市のショッピングモール「銀座・万虹広場」の一画に設けられる「日本館(仮)」内に、県産木材を活用した「熊本ゾーン」設置が決定。

②アジアの富裕層が経営するマンション、高級ホテル及び高級飲食店等をターゲットにして、県産木材を活用した「和室」をコンセプトとした輸出の可能性と課題を整理し、新たな海外展開への取組みを実施

[県(林業振興課)、くまもと県産木材輸出促進協議会]

〈「銀座・万虹広場」熊本ゾーン イメージ図〉



4 木質バイオマスの利用の推進

(1) 木質バイオマスエネルギー利用の推進

①原料供給、燃料製造、燃料配送の各分野において、燃料の低コスト安定供給に向けた取組みを支援（木質バイオマス等エネルギー対策事業）

[県（林業振興課）]

②木質バイオマス発電への利用を推進するため、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく木質バイオマス供給事業者認定制度の普及と事業者認定を実施

[県森連、県木連]

③木質バイオマス発電利用を推進するため、原料の安定確保についての指導等を実施

[県（林業振興課）]

④木質バイオマスに活用することを目的とした樹木の伐採、搬出等また、それに伴う資材の購入に対して助成

[熊本県森林・山村多面的機能発揮協議会（県森連内）]

⑤九州電力株式会社苓北火力発電所で使用する石炭混焼用の木質チップを出荷

[天草地域森林組合]

⑥農業用加温機による木質バイオマス燃料の需要を創出し、原料となる林地残材等の調達から燃料製造・配送にかかるシステムの構築（平成24年から。くまもと型地域循環システム）

[県（林業振興課）]

⑦木屑を利用したバイオマス発電事業の推進

[県木連]

(2) カーボンオフセットの普及

国内クレジット制度の対象となる利用者、木質バイオマス利用に関心のある事業者に対する、制度の普及啓発

[県木連]

Ⅱ 品質の確かな木材を提供する

1 品質・性能の確かな製材品の供給の推進

(1) 合法性証明制度の普及啓発

合法性証明制度の普及啓発及び認定事業者の拡大を推進するとともに、既認定事業者への研修指導を実施

* 県内の認定事業者数（平成30年3月末現在）：213事業体

[県森連、県木連]

(2) 品質の確かな乾燥材の販売促進

①消費ニーズを第一に、規格を統一した品質の確かな乾燥材の供給推進

[くまもと県産材共同集出荷センター]

②新エネルギーによる乾燥機の普及啓発

[県事業連]

③乾燥材の供給体制整備のためのリース助成実施

[県事業連]

④水中乾燥法の実証実験に取組み、将来的に付加価値を付けた製材品の生産を目指す。
また、水中乾燥法に取り組んでいる事業者を講師に招き研修会を実施する。

[八代木需協]

(3) JAS製材品の普及啓発

①JAS認定工場に対して、生産拡大のため、品質確保の指導等を実施

②JAS展示会への出品促進、協力によるJAS製品の普及促進

③講習会の実施

[県（林業振興課）、県木連]

(4) 共同出荷の推進

くまもと県産材共同集出荷センターが中核となり、高付加価値のため規格を統一した品質の確かな乾燥材の生産を促進し、県外への共同出荷を推進

[くまもと県産材共同集出荷センター、県事業連]

2 木材加工施設等の整備の促進

(1) 木材加工施設の整備促進

林業・木材産業生産性強化対策事業による施設整備の支援（木材製材施設、木材乾燥機）

[県（林業振興課）]

3 東京五輪を契機とした木材利用の推進

(1) 認証材の供給体制等を整備

①「くまもと県産森林認証材供給協議会」による東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ（D2棟）へ供給する部材（県産森林認証材）の作製（平成31年6月納品予定）

②東京五輪を契機に森林認証材等の木材需要の増加が期待されるため、「くまもと県産森林認証材供給協議会」による森林認証材のPR活動及び供給体制等の整備を実施
[県（林業振興課）、くまもと県産森林認証材供給協議会]

〈ビレッジプラザイメージ〉



本イメージは、変更になる場合があります。

Tokyo2020 提供

Ⅲ 身近に木と親しむ

1 木の良さの普及啓発

(1) 第24回県産材需要拡大県民運動推進会議の開催

出席者：林業・木製材業関係を中心に建設・建築業関係者、行政関係者等の参加

[県(林業振興課)]

(2) 木材利用推進のためのパネル等を展示

①県庁地下通路等で木造施設コンクール、木育事業、「木の日(10月8日)」に係るポスター及びパンフレット等を展示

[県(林業振興課)]

②管内市町村において、パネル等巡回展示を実施

[上益城林木協]

③地域内のイベントで木材利用等をPRするパネル展示、来場者への資料配布を実施

[八代木需協]

(3) 県政広報番組等による情報発信

テレビ、ラジオ、新聞、ホームページ等で県の施策を紹介し、木の良さや、木造住宅の優位性、県産木材の利用意義等について普及啓発

[県(林業振興課)]

(4) マスメディアの活用による情報発信

新聞等を活用して、木造住宅の良さ・県産木材の利用意義等に関する普及啓発を実施

[林業・木材産業活性化広報協力事業協議会]

(5) インターネット等による情報発信

①ホームページで木材の特性、品質・規格、木材統計等の情報提供

[県木連、くまもと県産材共同集出荷センター]

②Eメール及び電話による相談に対し情報提供

[県木連]

③「国産材住宅ワンストップサービス窓口」による地域材を使った家づくりを行う事業者情報を一般消費者に提供

[県木連、林業・木材産業活性化広報協力事業協議会]

④フェイスブックによる情報発信

くまもとの森林・林業・木材産業について紹介するフェイスブックページ『くまもとの木づかい』で情報発信

[県(林業振興課)]

(6) その他の取り組み

- ①管内関係施設へ木製品を贈呈し、施設利用者に木材の良さを普及啓発

[八代木需協]

- ②管内林業・木材産業関係者等を対象とした研修会の開催

[上益城林木協]

2 木育や木づかい運動等の推進

(1) くまもとの木と親しむ環境推進事業の実施 (水とみどりの森づくり税活用事業)

県民、特に次世代を担う子どもたちに、木のぬくもりや香りに親しむ環境を提供し、木を身近なものに感じてもらい、木材の良さや県産木材の利用意義等の理解を深めるため、次の取組みを実施

- ①くまもとの木製遊具推進事業

幼稚園、保育園等の子育てを支援する施設等に県産木材で作った木製遊具を貸し出すとともに、木をテーマにした紙芝居や絵本の読み聞かせ等を実施

- ②くまもとの木育体験事業

子どもたちを対象に、県産木材を使ったものづくり体験等を実施

- ③木とともに育つ環境整備事業

幼稚園・保育園・小中学校等へ県産木材を使用した机・椅子及びロッカー、棚など子どもが利用する木製品の導入を支援

- ④くまもとの木で育む教育推進事業

義務教育課程における木育推進のため、小学5年生向けの社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本及び教師用ガイドブックの作成配布予定

- ⑤くまもとの木とふれあう木育推進事業

地域の特色を活かし、県産木材を使用した木育に関する活動や取組を支援

[県(林業振興課)]

(2) 木育インストラクター(木育推進員)の養成

- ①木育を行う人材を養成するための講座を開催

初級、中級及び上級に分け各1回、県と熊本大学がそれぞれ開催し、計6回実施

[熊本大学、県(林業振興課)]

- ②木育のつどい(木育情報交換会)

木育推進員及び木育活動を実施している県内の団体が情報交換を行うことで、それぞれの新たな取組みの実施、活動の幅の拡大、連携の推進などに繋げることを目的とし、情報交換会を実施

[県(林業振興課)]

(3) くまもとのづくりフェアの開催

子どもや保護者を対象に、県産木材を素材としたものづくりフェアを県内4箇所で各1回実施

[県(林業振興課)、熊本大学]

(4) ものづくり教室の開催

子ども・保護者を対象としてもものづくり教室を実施

[熊本県技能士会連合会]

(5) 木工作品コンクールの実施

中学校を対象とした木工作品のコンクールを実施

[球磨木需協]

(6) 各地域木需協、各団体による木工教室の実施

小学生を対象とした木工教室を実施

[各地域木需協(熊本、宇城、玉名、鹿本、菊池、阿蘇森づくり協、上益城林木協、水俣・芦北、球磨、天草)、くまもと振興会、各地区木青会、県建築士会阿蘇支部]

(7) その他の活動

①木育活動の実施

[県森連]

②県産材を使った木育普及活動の実施

幼稚園、保育園を対象に親子で参加体験する「木育ワークショップ」(箸づくり体験)を実施するとともに、県産材で作られたすべり台を寄贈

[林業・木材産業活性化広報協力事業協議会]

③木木ふれ合い祭

木材に親しみ、木材の良さを知っていただくことで、県民の皆様に木材利用を普及するためのイベントを開催

[同上]

④木製遊具の提供等

幼児期から木に親しむ機会を増やすため、保育園等に木製玩具を提供

[各地域木需協(玉名、鹿本、宇城、菊池、阿蘇森づくり協、上益城林木協)]

⑤天草ヒノキプロジェクトの推進

ヒノキを活用した商品開発、商品の巡回展示、ものづくり体験イベントの実施、公式HPでのPR

[天草木需協]

⑥木育に関する講演会の開催

[熊本大学]

⑦幼児期から木に親しむ機会を増やすため、町内1歳児に小国杉玩具を贈呈（ウッドスタート事業）

[小国町]

⑧幼児期から木に親しむ機会を増やすため、町内3カ月児に木製玩具（木製の金魚の車及び積木）を贈呈（長洲町ウッドスタート事業）

[長洲町]

⑨幼児期から木に親しむ機会を増やすため、村内の1歳未満児に木製玩具を贈呈

[五木村]

⑩幼児期から木に親しむ機会を増やすため、町内の1歳児に木製品（平成30年度についてほうたせ船の積み木）を贈呈

[芦北町]

3 住宅における木材利用の推進

(1) くまもと型復興住宅の建設

①県産木材を用いた木造住宅が震災からの復旧、復興に最大限利用されるような取組みを継続して推進

[熊本県地域木造住宅生産体制強化地域協議会]

②平屋または2階建てであって耐震等級3または3相当の県産材を使用した木造住宅に係るプラン集をまとめたガイドブックの配布（1千万円以下に20プラン、2千万円以下に35プランの掲載）

[熊本県地域型復興住宅推進協議会]

③セミナー・相談会の実施

県内の建築・木材関係団体と連携し、ガイドブックを活用したセミナーや相談会を開催

[同上]

④くまもと型復興住宅を知る森林バスツアーの実施

五木源住宅森林バスツアー（5月13日）

阿蘇住宅森林バスツアー（8月5日）

[同上]

(2) 災害公営住宅の木造・木質化の実施【新規】

災害公営住宅の建設において、平成 28 年に策定した熊本県災害公営住宅等整備基本理念に基づき、木造・木質化を推進

[県（住宅課）、関係市町村]

(3) くまもと県産木造住宅づくり復興推進事業

県産木材の使用を通して良さを実感してもらい、住宅への県産木材の利用促進を図るため、県産の木材及び緑化木（庭木）の提供事業を実施

①住宅等への補助：合計 133 戸

（一般住宅 100 戸、三世帯住宅 30 戸及び事業所等への補助 3 棟）

②県産木材の提供事業による住宅の建築事例等を紹介

[県（林業振興課）、県木連、熊本県樹芸農業協同組合]

(4) 木造建築物イメージ回復対策事業

木造住宅が地震に弱いというイメージを払拭し木造住宅を選択していただくために、パンフレット等を作成・配布して県民に木造建築物と地震に関する情報を提供

[県（林業振興課）]

(5) くまもと県産木材アドバイザーによる普及啓発活動の実施

木造建築だけではなく林業や木材流通加工さらには県産木材の利用意義を伝えることができる幅広い知識をもった「くまもと県産木材アドバイザー」を活用した普及啓発を実施（平成 30 年度現在認定者数：104 名）

[県（林業振興課）、県産木材アドバイザー]

(6) 住宅等の見学会の実施

①消費者を対象とした製材所、木造住宅、木造建築等の現地見学会を開催

[八代木需協]

②高校生を対象に、次世代の木造住宅建築の担い手育成のため、木造住宅、木材加工工場等の見学会を実施

[県（住宅課）、くまもと県産材振興会、熊本県建築住宅センター]

(7) 木造住宅設計コンクールの実施

高校生、高専生、大学生を対象に、設計コンペを実施

[県（住宅課）、くまもと県産材振興会、熊本県建築住宅センター]

(8) 市町村における木造住宅への支援

地域材を購入して家を建てる施主を対象とした、木材費用等の支援を実施（10市町村）
[八代市、水俣市、人吉市、天草市、美里町、小国町、
芦北町、多良木町、湯前町、山江村]

(9) 高齢者向け住宅の木質化の実施

高齢者向けサービス付き高齢者住宅の整備の補助条件に、内装（壁及び床）の木質化を付することで、木質化の促進を実施 [県（住宅課）]

(10) 県営住宅の木質化の実施

県営住宅の住戸改善において、床材に県産木材を使用 [県（住宅課）]

(11) 技術研修会等の実施

木製材業者、設計者、建築士及び住宅建設関係者等を対象として、研修会・講習会等を実施 [八代木需協、水俣・芦北木需協]

4 木を活かした地域づくりの推進

(1) 木を活かした景観づくり支援事業の実施

多くの県民が利用または目に触れる公共的空間（観光地や商店街など）における県産木材を活用した建築物、案内板、外構・休憩施設等の設置又は補修の支援（7件程度予定）
[県（林業振興課）]

(2) くまもとの木の空間づくり支援事業の実施【新規】

県産木材を使用した店舗等の内装木質化等を支援し、店舗等を「くまもとの木を利用した内装木質化等のモデル」とするとともに「くまもとの木の良さを伝える情報発信拠点」とし、県産木材等のPRを実施（3店舗程度予定）
[県（林業振興課）]

(3) 顔の見える家づくりグループによる取組み

県内の「顔の見える家づくりグループ」による地域材を利用した住宅建築の情報提供や住宅相談会、見学ツアー等を実施

工務店、木材生産業者及び森林組合などが連携し、施主を山に案内するなどして、木造住宅の建築に意欲を喚起する

[顔の見える家づくりグループ]

(4) 公共工事等への木製品の普及啓発

丸太、坑木、残置式型枠、校倉式土留め等、公共工事等に使用する木製品について、土木資材木材活用ガイドブック、業界団体の研修会等を活用した普及啓発を実施

[土木資材としての木材供給確保協議会]

県産材需要拡大県民運動推進会議設置要綱

(設置)

第1条 県産材の需要拡大を推進するため、木材の生産・加工・流通・消費に関わる団体及び個人からなる県産材需要拡大県民運動推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(目的)

第2条 推進会議は、林業・林産業に関わる業界関係者の連携強化を図りながら、一般消費者も巻き込んだ県産材の需要拡大運動を展開することを目的とする。

(事業)

第3条 推進会議は、前条の目的を達成するため次に掲げる事業を行う。

- (1) 県産材の需要拡大運動の推進についての研究協議
- (2) 県産材の需要拡大のための普及啓発
- (3) その他県産材の需要拡大運動に必要な事業

(構成)

第4条 推進会議に会長、副会長及び委員を置く。

- (1) 会長は知事が務める。
- (2) 副会長若干名を置き、会長が指名する。
- (3) 委員は、別表に掲げる団体の代表者等を持って構成する。
- (4) 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会長は、会議を招集し、主宰する。

2 会長に事故あるときは、会長が指名する副会長がその職務を代理する。

(推進本部)

第6条 推進会議に、県産材需要拡大県民運動推進本部（以下「推進本部」という。）を置く。

2 推進本部は、推進会議が行う事業の企画・運営・管理を行う。

3 推進本部の運営に必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、熊本県農林水産部森林局林業振興課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成7年8月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年7月21日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年7月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年3月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年1月30日から施行する。

別表

県産材需要拡大県民運動推進会議構成

会 長	熊本県知事
副会長	熊本県森林組合連合会会長
副会長	一般社団法人熊本県木材協会連合会会長
委 員	熊本県市長会会長
〃	熊本県町村会会長
〃	熊本県議会議長
〃	熊本県市議会議長会会長
〃	熊本県町村議会議長会会長
〃	熊本県森林・林業活性化促進議員連盟会長
〃	熊本県木材事業協同組合連合会会長
〃	熊本県木材青壮年会連合会会長
〃	公益社団法人熊本県建築士会会長
〃	一般社団法人熊本県建築士事務所協会会長
〃	一般社団法人熊本県優良住宅協会会長
〃	熊本県建築組合連合会会長
〃	一般社団法人熊本県建設業協会会長
〃	熊本県治山林道協会会長
〃	一般社団法人熊本県造園建設業協会会長
〃	熊本県森林土木建設協会会長
〃	熊本県商工会議所連合会会長
〃	熊本県商工会連合会会長
〃	熊本県中小企業団体中央会会長
〃	熊本県教育委員会教育長
〃	国立大学法人熊本大学学長
〃	特定非営利法人熊本消費者協会会長
〃	株式会社熊本日新聞社代表取締役社長
〃	熊本地区木材需要拡大推進協議会会長
〃	宇城地域木材需要拡大協議会会長
〃	玉名地域森林・林業振興協議会会長
〃	鹿本地域木材需要拡大推進協議会会長
〃	菊池地域木材需要拡大推進協議会会長
〃	阿蘇森づくり協議会会長
〃	上益城地域林業・木材産業振興協議会会長
〃	八代地域木材需要拡大推進協議会会長
〃	水俣・芦北地域木材需要拡大協議会会長
〃	球磨地域林業・木材産業振興協議会会長
〃	天草地域木材需要拡大推進協議会会長